

# 「物件」ではなく 「街の未来」を貸し出す。 若松、再起動。



牛島 源 さん  
若松商店街連合会 副会長

## キトウの贈る言葉

「物件」ではなく「物語」でまちの価値を高めている牛島さん。人の流れと想いの流れを、同時にデザインしている稀有な存在。若松の再起動が進む理由は、牛島さんたちの冷静な目線と判断力から！

「この街、昔はもってキラキラしてたのにな……」  
26歳で故郷・若松に戻ってきたとき、静まり返った商店街を見て、胸の奥がチリッと痛んだのを覚えていません。それが私の原点です。「どうかしなきゃいけない」——その直感だけで走り出し、気づけば今日まで駆け抜けてきました。

まちづくりで一番の壁になるのは、実は「見えない情報」です。商店街には魅力的な空き店舗があっても、大家さんと連絡がつかなかったり、条件が分からなかったりする。そこで私は、埋もれていた物件情報を一箇所に集め、実際に街を歩く「貸店舗ツアー」を企画しました。

2日間のツアー開催で参加者は15名。「2日だった15人？」と思うかもしれませんが、その告知をした瞬間に内覧予約が入り、すぐに一

軒の空き店舗の成約が決まったんです。この街で挑戦したい人は、確かにいる。私たちの仕事は、その情熱に火を灯し、「場所」というバトンを繋ぐことなんです。

そして今、若松を「美味しい街」として再定義しています。それが特産グルメイベント『Wakamatsu Harvest』です。若松のトマト、トウモロコシ、ブロッコリー……。北九州中のシェフたちが、この街の旬を使って期間限定の絶品メニューを考案してくれます。10店舗から始まったこの輪は、今や八幡西区など周辺地域まで広がり、10回を超える人気イベントに育ちました。

若松には、古い建物が持つ独特の情緒と、新しい感性が混ざり合う、不思議な熱気があります。

「若松、最近面白いことやってるね」  
そう言ってもらえるのが一番の報酬

です。物件を探しに、あるいは最高の地産地消の若松グルメを食べに、ぜひ若松へ。海風を感じながら、私たちが本気で守り、育てているこの街の鼓動を、直接感じてほしいんです。



若松商店街

<https://wakamatsushoutengai.jp/>  
@wakamatsushoutengai

